

## 大同、メイプルレッズが全勝キープ

～ 第30回日本ハンドボールリーグ第8週～

第30回日本ハンドボールリーグ第8週は11月3、5、6日、愛知県などで8試合が行われ、男子では首位の大同特殊鋼がトヨタ車体、ホンダ熊本を危なげなく退けて開幕からの連勝を8に伸ばし、女子もクイン広島メイプルレッズがHC名古屋に完勝して全勝をキープした。

国体ブレイクが明けた第8週、男子では単独トップの大同特殊鋼がトヨタ車体、ホンダ熊本相手に力強い横綱相撲を展開。トヨタ車体戦は開始3分に山本の速攻で先制点を奪うと、その後もポストプレーと速攻で3連取。トヨタ車体は大同DFの高い壁に苦しみ、パッシブプレーやパスミスを連続させて大同特殊鋼の先行を許した。このあとモパワープレーのチャンスに着実に加点するなどした大同特殊鋼が16-8とダブルスコアの点差をつけて前半終了。後半5人のトヨタ車体に対し、大同特殊鋼は趙範衍のスカイプレーや武田のロングで連取、トヨタ車体もGK木下の好守をきっかけに後半10分ようやくこの試合初の連続得点を奪うが、試合の流れを呼び込むまでに至らなかった。これで7連勝とした大同特殊鋼は、続くホンダ熊本にも36-21と全く付け入るスキを与えず快勝した。

2位の大崎電気は4位に浮上したトヨタ紡織九州と対戦、ハイテンポの打ち合いの中でも東、太田らの活躍でがちり要所をおさえ、39-30で6勝目をマークした。トヨタ紡織は大崎・宮崎にマンツーマンを仕掛け、DFから速攻展開へと持ち込もうとしたが、退場者を出した間に大崎電気の速攻を許し、反撃ムードに水をさされたのが痛かった。

3位につける湧永製薬は最下位のホンダ熊本相手に苦しんだ。湧永製薬はGK松村の好セーブと、ここまで8得点を奪った小野の活躍などで前半23分まで14-6と一方的にリード。これに対し、前半残り6分で4得点をあげたホンダ熊本が反撃に転じ、後半に入ってサイドシュートを7本セーブしたGK松岡の好守もあって20分19-20と1点差に肉薄、26分松本のステップシュートでついに逆転した。しかし、終了2分前、ホンダ熊本・櫛田の退場が響き、湧永製薬は下川の速攻で再逆転してそのまま逃げ切った。そのほかトヨタ車体-ホンダは25-25の引き分け、ホンダはトヨタ紡織にも25-30と屈して苦しい星勘定となった。

女子は広島メイプルレッズが前半11-8とHC名古屋の食い下がりやを許したが、後半立ち上がりの7mTをGK浅井が好セーブしたあと、大前退場のピンチを無得点で切り抜けたあたりから本来のリズムを取り戻し、多彩な攻めから得点を重ねてワンサイドゲームに持ち込んだ。

注目のソニーセミコンダクタ九州-オムロン戦は予想通り1点を争う白熱の好ゲームを展開。前半はカットイン、速攻などで6得点をあげた田中の活躍などで有利に試合を進めたソニーが15-13と2点リードで終了、後半立ち上がりも郭恵静らで3点を連取、6分18-14と快調なペースで飛ばした。しかし、オムロンもGK勝田の再三の好セーブでなんとか劣勢をしのぎ、許順栄や佐久川の活躍などで先行するソニーを急追、15分過ぎに20-19と逆転したあとは1点を争うシーソーゲームとなった。オムロンが城内、東濱らで逃げればソニーも金城、山田(早)らで必死の追撃。27分24-24の同点から城内、吉田の連打で再び抜け出したオムロンが、ソニーの反撃を寺田の1点のみにとどめて1点差で貴重な白星をものにした。



全勝を守り続ける大同特殊鋼・山本

## 第9週の日程

### [ 1 部 ]

11月12日(土) 埼玉・八潮市鶴ヶ曽根体育館(東武伊勢崎線草加駅バス15分) 14:00~(男)大崎電気×トヨタ車体  
広島・湧永満之記念体育館(JR芸備線甲立駅車10分) 14:00~(男)湧永製薬×トヨタ紡織九州  
熊本・山鹿市総合体育館(九州産交バス・日輪寺バス停徒歩15分) 16:00~(男)ホンダ熊本×ホンダ  
11月13日(日) 大坂・住吉スポーツセンター(地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩10分) 13:30~ 女子オールスター戦

11月3日(木) 男子1部 愛知・東海市民体育館	11月3日(木) 男子1部 高知・高知県民体育館
大同特殊鋼 30 (16-8) 21 トヨタ車体 7勝0分0敗	湧永製薬 24 (15-10) 23 ホンダ熊本 5勝0分2敗
K 荻田 木下 K 2/5 松林 佐々木 0/2 4/8 趙範 辻 3/4 1/1 4/9 末松 新美 0/0 3/5 峯村 近藤 0/0 0/1 中谷 竹下 0/0 0/0 市原 北出 4/5 1/6 武田 田平 K <0/5> 0/0 畠中 清水 1/2 0/0 渡邊 長谷川 1/2 K 高木 崎前 0/2 3/6 山本 藤田 2/8 4/4 6/10 白元 詰安 藤 5/11 2/2 渡久川 鶴谷 5/5	湧永製薬 24 (15-10) 23 ホンダ熊本 5勝0分2敗
5/5 25/52 7(FPP)13 21/41 0/0 審判(池淵・檜崎) 観客 900人	2/2 22/46 5(FPP)4 23/49 0/0 審判(藤井・大野) 観客 417人

第9週の見どころ

次週は埼玉などで男子1部の3試合が行われる。女子は別項のとおり全日本女子が第17回世界女子選手権(12月5日からロシア・サントペテルブルグで開催)に出場するためブレイク期間に入る。

8戦全勝の大同特殊鋼を追ってV2を狙う1敗の大崎電気がビタリと肉薄。両者との対戦を1点差で落としている湧永製薬(5勝2敗)も今後の巻き返しに意欲を燃やしている。次週はその湧永製薬と4位に浮上したトヨタ紡織九州が激突するほか、大崎電気がトヨタ車体の挑戦を受ける。湧永製薬-トヨタ紡織の第1ステージでの対戦は25-24の1点差で湧永が辛勝しており、この一戦もスリリングなクロスゲームになりそう。同じく第1ステージで20-39と大きく突き放されたトヨタ車体が、大崎相手にどんなチャレンジぶりを見せるか。また、ホンダ熊本-ホンダは、両者とも黒星先行で苦しい展開を強いられているため、中盤以降に浮上するきっかけをつかみたいところ。これまで白星のないホンダ熊本はホームの戦いでなんとか活路を見出したい。

11月3日(木) 男子1部 佐賀・神埼中央公園体育館	11月5日(土) 女子1部 愛知・半田市体育館
トヨタ紡織九州 30 (12-14) 25 ホンダ 3勝0分4敗	広島メイプル レイズ 26 (11-8) 14 H C名古屋 6勝0分0敗
K 田中利 中谷 5/5 6/13 中島 鶴見 3/3 0/1 高山 柳本 4/4 1/1 1/2 村上直 横地 0/0 0/0 植木 横地 1/6 5/7 村上秀 加藤 1/7 1/1 2/2 3/8 呉相民 青野 0/0 1/2 佐久間 谷山 3/5 0/1 鶴田 野嶋 1/3 0/0 阪部 井川 1/3 <0/2> K 谷川 吉 K <0/2> 10/12 石黒 小倉 1/8 2/4 朴正 羽賀 3/4 0/2 藤山 四方 K	<1/1> K 高森 川畑 K 2/2 土屋 中村 3/5 5/5 樹山 岡田 1/3 1/2 青戸 菅谷 0/3 0/1 3/5 大前 原田 0/0 0/0 河本 宮田 1/4 2/7 菅野 羽出 1/4 2/2 坪井 長田 0/0 0/0 呉成玉 水野 4/5 4/8 坂口 佐藤 1/4 1/1 <0/1> K 浅井 吉 K 3/6 杉山 秋山 2/3 4/5 石本 大坂 0/0 K 江頭 近藤 K
2/2 28/52 8(FPP)6 23/48 2/2 審判(金子・児玉) 観客 485人	0/0 26/42 6(FPP)1 13/31 1/2 審判(船谷・丸山) 観客 600人

11月5日(土) 男子1部 愛知・半田市体育館	11月5日(土) 女子1部 鹿儿岛・ソニーセミコンダクタ九州(株)体育館
トヨタ車体 25 (15-12) 25 ホンダ 2勝1分5敗	オムロン 26 (13-15) 25 ソニーセミコンダクタ九州 5勝0分1敗
<1/2> K 木下 中谷 0/0 2/4 辻 鶴見 0/1 3/3 8/17 野村 柳本 0/0 0/1 近藤 横地 2/2 0/0 竹下 横地 0/5 2/5 北出 加藤 2/7 2/3 <1/3> K 田平 谷山 0/0 0/0 清水 谷口 4/6 1/2 0/0 長谷川 野嶋 0/1 2/7 香川 阿部 2/4 4/10 崎前 吉井 K <0/3> 1/2 藤田 小倉 11/18 0/1 安藤 羽賀 1/2 3/6 鶴谷 四方 K	<1/3> K 勝田 中島 K <0/1> 0/3 水野 郭惠静 3/14 1/1 1/3 安心院 長野 2/4 3/4 許順栄 山田 0/0 0/1 0/1 西本 田中 7/12 2/2 1/1 0/0 吉田 山田 1/3 5/8 0/0 富田 水田 0/0 4/6 佐久川 高栖 0/2 3/3 坂元 千葉 0/0 1/2 久野 千飛 田 K <3/8> <0/1> K 藤間 佐師 0/0 3/3 城内 寺田 4/5 3/10 東濱 東 0/0 2/4 洪延昊 金城 5/11
3/3 22/53 7(FPP)11 22/46 3/5 審判(青木・根来) 観客 600人	6/9 20/39 6(FPP)6 22/51 3/4 審判(家永・福島) 観客 537人

11月6日(日) 男子1部 佐賀・神埼中央公園体育館	11月6日(日) 男子1部 熊本・八代市総合体育館
大崎電気 39 (18-15) 30 トヨタ紡織九州 6勝0分1敗	大同特殊鋼 36 (20-8) 21 ホンダ熊本 8勝0分0敗
K 浦和 中島 9/13 3/5 豊田 高山 0/0 1/1 加藤 村上直 2/5 2/2 0/0 前田 植木 0/0 3/3 佐藤 村上秀 5/7 2/3 永 呉相民 3/8 3/5 岩本 佐久間 1/3 1/1 森本 鶴田 1/1 5/5 太田 飯 1/1 0/0 酒井 谷川 K <0/1> K 濱口 石黒 4/6 10/12 東松 野 K <0/1> 4/5 猪妻 朴正 鎮 4/5 5/9 宮崎 藤山 0/0	<2/2> K 荻田 藤田 K 3/4 松林 大宮 4/8 5/7 趙範 米満 0/1 9/12 末松 上田 0/0 4/7 峯村 本多 1/3 1/3 中谷 本井 3/8 0/1 0/0 市原 佐伯 3/5 0/0 板垣 松岡 K <0/1> 5/9 武本 松本 3/11 1/2 2/4 畠中 松延 K 1/1 渡邊 池辺 4/5 1/1 5/7 白元 詰 2/6 0/0 渡久川
2/2 37/49 8(FPP)13 30/49 0/0 審判(金子・児玉) 観客 593人	1/1 35/54 3(FPP)5 20/47 1/3 審判(家永・福島) 観客 363人

男子2部 北電が順当に4連勝 男子2部は豊田合成-北陸電力の1試合のみ。第1ステージを順当に3連勝で切り抜けた北陸電力の地力がスタートから爆発、前田らの好打で14分11-2とリードを奪うと、その後もスピーディな展開から着実に加点。半田から反撃する豊田合成だったが、手堅い北陸DFの前に得点ペースが上がらず前半22-6と北陸電力が大きくリードしてUターン。後半も北陸ベースの試合が続き、5分過ぎには27-7と20点差が開いて試合の行方が決した。 次週は試合がなく、第10週に豊田自動車-豊田合成、そして注目のH C東京-北陸電力戦が組まれている。	11月6日(日) 男子2部 愛知・豊田合成(株)健康管理センター
北陸電力 39 (22-6) 19 豊田合成 4勝0分0敗	北陸電力 39 (22-6) 19 豊田合成 0勝0分3敗
<1/1> K 西田 石橋 0/0 5/7 高橋 原 3/6 7/10 神田 山越 4/5 4/6 落合 桶谷 0/1 3/3 3/10 梶井 門野 0/1 0/1 7/10 前田 桑田 1/2 5/5 高田 大植 0/1 4/4 杉村 湯倉 2/3 1/1 北山 山田 2/6 0/0 表 佐藤豪 5/13 K 安藤 半田 2/4 K 有江 佐藤優 K <0/3> 吉田 0/0	3/3 36/53 7(FPP)6 19/42 0/1 審判(青木・根来) 観客 200人

日本ハンドボールリーグ女子オールスター戦(全日本 vs JHL選抜)

第17回世界女子選手権(12月5日~ロシアにて開催)を控えた全日本チームの壮行試合として、またリーグ選抜の強化として開催します。当日は入場無料となっております。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

主催 (財)日本ハンドボール協会 日本ハンドボールリーグ機構  
主管 日本ハンドボールリーグ委員会 大阪ハンドボール協会 大阪市ハンドボール連盟  
開催日 平成17年11月13日(日)  
会場 大阪市立住吉スポーツセンター  
所在地:大阪市住吉区浅香1-8-15 TEL:06-6694-9201  
最寄駅:地下鉄御堂筋線「あびこ駅」から(3・4号口)南へ徒歩10分  
JR阪和線「杉本町駅」から東へ徒歩12分、市営バス「浅香東住宅前」すぐ  
入場券 入場無料

\*\*\*当日のスケジュール\*\*\*

9:30~11:30 ... 選手との交流会・実技指導(小学生男女,中学生・高校生女子)  
13:00~ ... 全日本チーム壮行セレモニー  
13:30~ ... オールスター戦(全日本チーム vs JHL選抜チーム)

選手・役員登録情報

男子1部  
トヨタ紡織九州  
・登録抹消(11月1日付)  
トレーナー 金崎 正憲  
男子2部  
H C東京  
24 ウィステン・グリムスタート  
1972.09.27 190cm 90kg 右  
ノルウェー  
・NTNUI GLOSHAUGEN  
11月7日から出場可能

# 男女1部個人賞レース 第8週終了

《男子》 《女子》

## 得点王

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	77点	(8試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	48点	(5試合)
2 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	48点	(8試合)	2 郭 惠 静 (ソニ-)	44点	(5試合)
2 末 松 誠 (大同特殊鋼)	48点	(8試合)	3 田中 美音子 (ソニ-)	40点	(5試合)
4 小 倉 学 (ホンダ)	46点	(8試合)	4 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	36点	(6試合)
5 野村 広明 (トヨタ車体)	44点	(6試合)	5 大前 典子 (メイプルレッズ)	29点	(6試合)
6 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	43点	(8試合)	6 水野 由加里 (HC名古屋)	26点	(6試合)
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	43点	(7試合)	7 富田 有美 (オムロン)	25点	(5試合)
8 東 俊 介 (大崎電気)	40点	(7試合)	7 中村 尚美 (北国銀行)	25点	(5試合)
8 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	40点	(8試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	25点	(6試合)
10 下川 真良 (湧永製薬)	38点	(7試合)	10 水野 恵子 (オムロン)	23点	(6試合)
11 香川 将之 (トヨタ車体)	37点	(7試合)	11 佐久川 ひとみ (オムロン)	22点	(6試合)
12 豊田 賢治 (大崎電気)	35点	(7試合)	11 杉本 絵美 (メイプルレッズ)	22点	(6試合)
12 石黒 将之 (トヨタ紡織九州)	35点	(8試合)	13 青戸 あかね (メイプルレッズ)	20点	(6試合)
12 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	35点	(8試合)	13 武井 夏紀 (北国銀行)	20点	(5試合)
15 松本 博文 (ホンダ熊本)	34点	(8試合)	15 上町 史織 (北国銀行)	19点	(5試合)

## フィールド得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	56点	(8試合)	1 郭 惠 静 (ソニ-)	37点	(5試合)
2 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	47点	(8試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点	(5試合)
2 末 松 誠 (大同特殊鋼)	47点	(8試合)	3 大前 典子 (メイプルレッズ)	29点	(6試合)
4 小 倉 学 (ホンダ)	46点	(8試合)	4 田中 美音子 (ソニ-)	28点	(5試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	43点	(8試合)	4 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	28点	(6試合)
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	43点	(7試合)	6 水野 由加里 (HC名古屋)	26点	(6試合)
7 東 俊 介 (大崎電気)	40点	(7試合)	7 東濱 裕子 (オムロン)	25点	(6試合)
8 下川 真良 (湧永製薬)	38点	(7試合)	8 水野 恵子 (オムロン)	22点	(6試合)
8 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	38点	(8試合)	8 佐久川 ひとみ (オムロン)	22点	(6試合)
10 豊田 賢治 (大崎電気)	35点	(7試合)	10 青戸 あかね (メイプルレッズ)	20点	(6試合)
10 野村 広明 (トヨタ車体)	35点	(6試合)	10 武井 夏紀 (北国銀行)	20点	(5試合)

## シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 東 俊 介 (大崎電気)	40点/ 55射	0.727	1 水野 恵子 (オムロン)	22点/ 34射	0.647
2 下川 真良 (湧永製薬)	38点/ 56射	0.679	1 佐久川 ひとみ (オムロン)	22点/ 34射	0.647
3 豊田 賢治 (大崎電気)	35点/ 54射	0.648	3 水野 由加里 (HC名古屋)	26点/ 41射	0.634
4 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	43点/ 69射	0.623	4 大前 典子 (メイプルレッズ)	29点/ 46射	0.630
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	43点/ 70射	0.614	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点/ 55射	0.618
6 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	47点/ 79射	0.595	6 田中 美音子 (ソニ-)	28点/ 48射	0.583
7 白 元 喆 (大同特殊鋼)	56点/ 98射	0.571	7 青戸 あかね (メイプルレッズ)	20点/ 36射	0.556
8 末 松 誠 (大同特殊鋼)	47点/ 84射	0.560	8 東濱 裕子 (オムロン)	25点/ 51射	0.490
9 中 畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	38点/ 77射	0.494	9 郭 惠 静 (ソニ-)	37点/ 78射	0.474
10 小 倉 学 (ホンダ)	46点/ 96射	0.479	10 武井 夏紀 (北国銀行)	20点/ 44射	0.455
11 野村 広明 (トヨタ車体)	35点/ 82射	0.427	11 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	28点/ 83射	0.337

## 7mスロー得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	21点	(8試合)	1 富田 有美 (オムロン)	25点	(5試合)
2 野村 広明 (トヨタ車体)	9点	(6試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	14点	(5試合)
3 加藤 圭介 (ホンダ)	8点	(6試合)	3 田中 美音子 (ソニ-)	12点	(5試合)
3 前田 誠一 (大崎電気)	8点	(7試合)	4 吉田 祥子 (オムロン)	11点	(4試合)
5 香川 将之 (トヨタ車体)	7点	(7試合)	5 中村 尚美 (北国銀行)	9点	(5試合)
5 石黒 将之 (トヨタ紡織九州)	7点	(8試合)			
5 小沢 勝利 (湧永製薬)	7点	(6試合)			

## 7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 濱口 靖 (大崎電気)	3本/ 8射	0.375	1 高森 妙子 (メイプルレッズ)	5本/ 10射	0.500
2 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	9本/ 25射	0.360	2 田代 ひろみ (北国銀行)	9本/ 23射	0.391
3 荻田 圭 (大同特殊鋼)	3本/ 10射	0.300	3 吉村 あゆみ (HC名古屋)	3本/ 8射	0.375
4 高木 尚 (大同特殊鋼)	2本/ 8射	0.250	4 勝田 祥子 (オムロン)	5本/ 16射	0.313
5 坪根 敏宏 (湧永製薬)	3本/ 14射	0.214	5 木澤 尚子 (北国銀行)	3本/ 12射	0.250

# 第30回日本ハンドボールリーグ成績表

第8週終了 11月6日

順位	1部男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	ホンダ	トヨタ車体	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		33	32	37	35	37 30	32 36	8	8	0	0	16	272	216	56
2	大崎電気	32		32	29 39	41	39	32	7	6	0	1	12	244	200	44
3	湧永製薬	31	31		25	28	28	25 24	7	5	0	2	10	192	171	21
4	トヨタ紡織九州	31	28 30	24		32 30	25	31	8	3	0	5	6	231	241	-10
5	ホンダ	30	32	21	30 25		27 25	33	8	2	1	5	5	223	240	-17
6	トヨタ車体	30 21	20	24	30	25 25		31	8	2	1	5	5	206	239	-33
7	ホンダ熊本	20 21	26	15 23	26	24	28		8	0	0	8	0	183	244	-61

順位	1部女子	メイブルレス	オムロン	ソニー	北国銀行	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルレス		30	42	32 30	28 26	6	6	0	0	12	188	147	41
2	オムロン	27		28 26	30	38 35	6	5	0	1	10	184	132	52
3	ソニーセミコンダクタ九州	37	25 25		34	39	5	2	0	3	4	160	149	11
4	北国銀行	27 18	21	31		29	5	1	0	4	2	126	146	-20
5	HC名古屋	24 14	20 11	22	20		6	0	0	6	0	111	195	-84

順位	2部男子	北陸電力	HC東京	トヨタ自動車	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		23	28	29 39	4	4	0	0	8	119	82	37
2	HC東京	21		24		2	1	0	1	2	45	43	2
3	トヨタ自動車	24	20		28	3	1	0	2	2	72	77	-5
4	豊田合成	18 19		25		3	0	0	3	0	62	96	-34

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。